

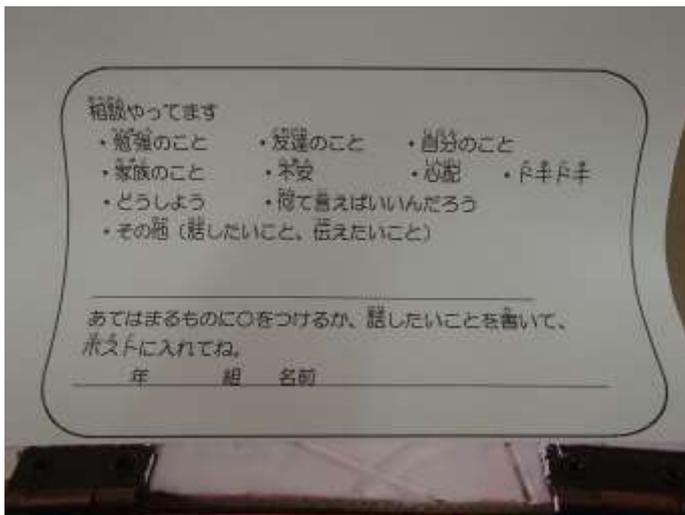
# かがやき

令和3年 12月 23日(木)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 13

## 冬至を過ぎて、令和3年の年末へ

今年もあとわずかとなってきました。年末を迎えますが、学校の年度末が3月なので節目という実感は子供たちにとってもあと少し先になる感覚があります。学校に登校してくる日数は約50日くらいです。ただ、1年がいろいろな形で過ぎていくということは意識して「ふりかえる」ことにより、より鮮明になると思います。6年生は卒業文集の作成が始まりました。意図的に自分がどのように成長したかをふり振り返りながら自分の成長にも少しずつ気が付くことがあるようです。「かつては～だった自分が～をがんばって～に気が付いて～できるようになった。」自分をふり返るということは少しずつでも自分を受け入れていくことでもあります。最近の指導の中で言葉を補足しながら子供たちの成長をふり返ると「そうかなあ～」と言いながらまんざらでもない表情を浮かべてくれる子もいます。年末、お子様の「成長したなあ～」と感じられる部分を探して教えてあげる。そんなことをしてみてもいい冬休みですね。健康に安全に楽しくお過ごしください。

## かがやきそうだんポスト



しました。自分の中に何か変化があったとき、困ったときに「相談」してみる。その結果、解決はしないかもしれないけど少し楽になった。ちがう視点で考えるきっかけができた。まずは手を挙げてみる。小さな声でも一声ささやいてみる。わずかでも周囲の人にアクションを起こしてみる。そんなことにつながっていければいいと思います。

## お知らせ

☆令和3年度後期の個人面談が終了しました。ご協力ありがとうございました。学校は年度末を迎えます。新年度に向け、いろいろ変化の時期にもなりますね。面談期間は終わりましたが、お子様のことで何か気になることがありましたらお気軽にご相談ください。



## 今月の絵本紹介



「しんゆうだけとだいきらい」 磯山 さやか 作・絵  
幼なじみの「みかり」と「しずく」。タイプのちがう二人はいつも仲良し。のはずでした。友だちのとった態度や言動が互いに許せなくなる二人。登場人物の変化を通して自分だったらどんなふうに考える？と意見交換しながら読むこともあります。

お互いに成長する二人の関係は常に同じであるとは限らない。そんな視点にも気が付かせてくれます。

### 「わたしのいちばん あのこの1ばん」

アリソン・ウォルチ 作 パトリス・バートン 絵  
薫 くみこ 訳

なんでもだれより一番であることが一番なの？自分の中の「好きなこと」と一番であることを自慢してくる友だちとのあいだで揺れ動く自分の本当の気持ち。「わたしはわたし」というちょっと背伸びした内容になっています。自分のこと見つめなおすきっかけになるような本ですね。



「花さき山」 斎藤 隆介 作 滝平 二郎 絵  
つらいことをしんぼうする気持ち。ひとのことももう気持ち。やさしさとけなげさが美しい花をさかせる。約50年前の作品ですが、今の子にも斎藤隆介さん滝平二郎さんの強い気もちが伝わってきます。

